

# APP 環境新聞 号外

発行日 2022年9月15日

発行者 エイピーピー・ジャパン株式会社



APPは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



テスト植樹(2020年10月)の様子

## ベランターラ環境保護基金事務局長 ドリー・プリアトナ博士インタビュー

エイピーピー・ジャパン株式会社(APPジャパン)は、売上の一部をベランターラ環境保護基金(ベランターラ基金)に寄付してインドネシアの森を再生する「森の再生プロジェクト~いっしょにSDGsに取り組もう!~」を推進しています。プロジェクト開始から3年目を迎えた2022年8月、ベランターラ基金事務局長ドリー・プリアトナ博士にインタビューを行いました。これまでの活動を振り返るとともに、今後の展開についてご報告します。

### まず「森の再生プロジェクト~いっしょにSDGsに取り組もう!~」について教えてください。

このプロジェクトは、スマトラ島リアウ州のギアム・シアク・ケチル=ブキット・バツ(GSK-BB)地区の荒廃林を再生する取り組みです。土を整えて木を植えるほか、雑草の除去や枯れている苗の植え替えなど、定期的なメンテナンス活動も行っています。自然林を再生するために、希少な固有種の苗を近隣の植林会社などから提供してもらい、1haにつき400~500本の密度になるように植えています。これまで、GSK-BB地域にあるAPPの伐採権保有地内の荒廃林27haに、植え替えを含めて約13,900本を植えました。

この活動は、インドネシア政府が推し進める気候変動や生物多様性保護のための森林再生方針に沿ったものです。また、活動地域は泥炭林と呼ばれる湿地帯で、さまざまな要因で荒廃して乾燥したことで、森林火災や地盤沈下が起きやすくなっています。泥炭林を再生して土を再湿潤化することで、こうしたリスクを軽減できるだけでなく、十分な水や森林から得られる木材以外の林産物(果物、ナッツ、薬用植物、蜂蜜など)を地域コミュニティが利用できるようになります。これはSDGsの特に13、15、17番の達成に貢献する取り組みです。

泥炭林の再生により吸収できる炭素量は、5年で1haあたり累計約3tと試算しています。現時点の植樹面積は27haですが、来年末には75haまで拡張予定なので、その5年後には計算上約225tの炭素(CO2換算で約826t)が吸収されることとなります。

### 森を再生する際の問題は何ですか？

樹種によって生存率が低いことが悩みです。2020年に植えた**バラングラン**はすでに3-4mの高さに成長していますが、同時期に植えた**ラミン**はまだ1.5mにもなりません。植えた後にモニタリングを行っていますが、ラミンは枯れていることが多く、自然界の生存競争になかなか勝てないことがわかりました。絶滅危惧種だけに苗の調達が可能ではなく、悩ましいところです。

また、活動地域の一部はスマトラトラの生息域なので、野生のトラとの接触を避ける細心の注意が必要です。APPグループ植林会社のスタッフはトラの習性を勉強しているので、彼らのアドバイスを取り入れながら活動を行っています。例えば、移動したり植樹を行う際には茂みや木立を避けて開けた場所を選んだり、1人ではなく複数人でまとまって行動するなどです。こうすることで、無用な接触を避けることができます。



### <ドリー・プリアトナ博士略歴>

ボゴール農科大学、森林資源保全学部、野生生物空間生態学で博士号を取得。2013-2021年、アジア・パルプ・アンド・ペーパー(APP)シナルマグループの森林景観保全部門長として従事。

1992年から、米系非政府組織の野生生物保全協会が行った、北スマトラ、ルセウル山国立公園の生態学プロジェクトのリサーチャーを務めたことを機に、その後約10年間、ヨーロッパ連合主導の総合保全開発プログラムにおいて野生生物保全に従事する。

現在はパクアン大学大学院で環境管理学の教鞭をとる傍ら、アジア保全生態学ジャーナルやスマトラトラ保全フォーラム、国際自然保護連合の生態系管理事業等のメンバーを務めている。2021年9月よりベランターラ基金の事務局長に就任。

## GSK-BB地域で他の関係者と共同で活動することはありますか？

例えば、2022年1月にユネスコ・インドネシア支部が開催したフォーラムに参加しました。プロジェクトを行っているGSK-BB地域は2009年にユネスコにより「人と生物圏保護区」に指定された地域です。ユネスコは10年毎に活動報告を行って保護区指定を継続すべきか精査しています。本来、2019年にその見直しが予定されていました。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大により、関係者が集まって活動報告をすることができなくなり、2022年1月になって、ようやく開催できました。

保護区では、植林会社、自治体、NGO、地域コミュニティなどが、各自でさまざまな環境保全に関する取り組みを行っています。

ベランターラ基金はそうした活動報告のとりまとめのお手伝いもしています。



写真左：ハンス・デンカー・スルストラプ氏（ユネスコオフィス、水環境科学、上級プログラムスペシャリスト）  
写真右：ドロー・プリアトナ博士（ベランターラ基金事務局長）  
GSK-BB 生物圏保護区関係者フォーラムにて

## 今後、森の再生プロジェクトはAPPの伐採権保有地だけではなく、州政府が管理する森林の再生も手がけるということですが……。

GSK-BB 地域の南に [KPH Minas Tahura](#) という州政府管理地域があります。この地域は 140,000ha の広さがあり、一部はスマトラゾウの生息域になっています。しかし、外部から流入した移民による違法伐採でパームが植えられ、50%以上が荒廃林になっていると言われています。ベランターラ基金は2ヶ月前に州の環境林業部と覚書を交わし、今年10月から段階的に森林再生のための植樹活動を行うことになりました。

苗は近隣のAPP植林会社から提供を受けます。植樹、メンテナンス、パトロールが主な活動になりますが、これまでより規模が大きくなるため、スタッフが1、2ヶ月滞在できるような小屋や苗の一時保管場所としての苗床(ナーサリー)を設ける予定です。また、周辺の地域コミュニティの人々にアルバイトとして植樹活動に参加してもらったり、再生した森を伐採することのないよう、良好な関係を築くことも必要になるでしょう。

## 最後に、読者のみなさまにひとことお願いします。

森の再生プロジェクトにご協力・ご支援いただいているAPPジャパン/UPの取引先、ステークホルダーのみなさまに厚くお礼申し上げます。この取り組みは、インドネシア政府が気候



### プロジェクトへの応援メッセージをいただきました！

#### <インドネシア共和国大使館 林業部長 ザフルル・ムターキン博士>

熱帯雨林の生態系は地球と地球上のすべての生き物を支え、その健康に貢献しています。APPジャパンとベランターラ基金が共同で行っているこの活動は、インドネシアの持続可能な森林管理について日本のみなさまに知っていただく上でとても意義深いものです。

インドネシア共和国大使館の林業部長として、日本とインドネシアのステークホルダーのみなさまに、この活動へのご支援をお願いしたいと思います。

変動の緩和に向けて掲げている目標に沿った活動として、意義深いものです。規模は小さくても、地域コミュニティや自治体に確実に良い影響を与えており、こうした積み重ねは気候変動緩和の大きな力になると信じています。

私たちベランターラの強みは、現地を熟知したN

GOであることです。現地での活動に欠かせないパートナーである自治体、地域コミュニティ、専門家、現地NGOなどのネットワークを持っているため、希少な固有種の苗を周囲の林業会社や地域コミュニティから調達することもできますし、これまでの経験から効率的な植樹方法も知っています。

現地では、地域コミュニティの貧困が森林の荒廃をもたらし、森が荒廃した結果、ゾウやトラの餌場が失われ、餌を求める動物たちと地域住民との接触が増え、保護すべき希少動物であるゾウやトラが地域コミュニティの脅威にもなっている複雑な現実があります。森を再生する取り組みは、こうした現状を踏まえ、野生動物の習性を理解した上で行う必要があるのです。

新たに森林再生を行う KPH Minas Tahura 地区は比較的交通の便が良いので、コロナ禍が収まった際には日本のみなさまにプロジェクトの現場を実際に見ていただきたいと思っています。今後、さらに多くのお客さまやステークホルダーの皆さまにより積極的なご支援をいただきながら、活動の輪が広がればと願っています。

## プロジェクト収支報告(2022年1月現在)

### <収入>

No.	寄付元	金額
1	MCBI Inc.: JPY100,000	Rp 14,043,000
2	Ichiryu Associates: JPY100,000	Rp 13,035,947
3	APPジャパン 第1回寄付: JPY500,000	Rp68,765,000
4	APPジャパン 第2回寄付: JPY504,598	Rp67,847,416
5	APPジャパン/UP社員寄付: JPY3,356	
6	APPジャパン 第3回寄付: JPY623,121	Rp82,146,586
7	APPジャパン/UP社員寄付: JPY4,719	
8	APPジャパン 第4回寄付: JPY976,877	Rp120,483,723
9	APPジャパン/UP社員寄付: JPY9,434	
合計		Rp366,321,672

### <支出>

No.	活動	金額
1	植樹第1フェーズ(5ha)	
	・整地	Rp5,703,463
	・植樹	Rp22,287,676
	・第1回メンテナンス/植え替え	Rp3,616,613
	・第2回メンテナンス/植え替え	Rp6,610,913
	・1年経過後モニタリング	Rp12,371,375
2	植樹第2フェーズ(10ha)	
	・整地	Rp15,769,050
	・植樹	Rp7,235,725
	・第1回メンテナンス/植え替え	Rp12,104,225
3	植樹第3フェーズ(12ha)	
	・整地	Rp3,599,300
4	ウェブсайт構築	Rp10,874,500
5	雑費	Rp4,692,288
6	管理費	Rp14,299,790
合計		Rp119,164,918

### 収支合計

1	収入	Rp366,321,672
2	支出	Rp119,164,918
残高		Rp247,156,754